

# 小川村における令和3年度基準地価格(田)の取扱い誤りについて

企画振興部市町村課

## 1 事案の内容

当課で令和6年度基準地価格(田)に係る資料を作成していたところ、小川村で使用している令和3年度基準地価格に疑義が生じた。そこで小川村に報告を求めたところ、令和3年度から令和5年度の基準地価格の取扱い誤りがあることが判明した。

| 概要                | 固定資産評価審議会からの答申を受け、県から市町村に通知した「令和3年度基準地価格」を使用せず、課税していた。  |          |          |         |         |       |          |          |          |       |          |          |          |         |       |       |       |
|-------------------|---|----------|----------|---------|---------|-------|----------|----------|----------|-------|----------|----------|----------|---------|-------|-------|-------|
| 令和3年度<br>基準地価格(田) | (正…県が通知した価格) <u>114,440 円/千㎡</u><br>(誤…小川村が使用した価格) <u>119,010 円/千㎡</u>  |          |          |         |         |       |          |          |          |       |          |          |          |         |       |       |       |
| 事案が発生した<br>原因     | 小川村が使用している税務電算システムでは、基準地価格は前年度に対する比準割合を入力し算出するが、本来1.00を入力すべきところ、誤って1.04を入力したことによるもの。<br>入力した担当者への聞き取りが行われたが、県通知に関する認識はあり、文書も保存されているものの、誤った数値を使用した理由が明らかにならず、完全に原因を特定できなかった。   |          |          |         |         |       |          |          |          |       |          |          |          |         |       |       |       |
| 事案の影響             | 本来の基準地価格よりも高い価格を使用したため、令和3年度から5年度までの固定資産税を過大に徴収していた。<br>・納税者数：6名(10筆、9,184㎡)<br>※端数処理により算出税額に影響のない者(4名(4筆、729㎡))を除く<br>・基準地が含まれる状況類似地区以外には影響なし<br>・影響額(税額)：▲1,900円(還付)<br><table border="1"><thead><tr><th></th><th>R3(3名分)</th><th>R4(4名分)</th><th>R5(5名分)</th></tr></thead><tbody><tr><td>税額【正】</td><td>194,700円</td><td>233,000円</td><td>294,200円</td></tr><tr><td>税額【誤】</td><td>195,100円</td><td>233,600円</td><td>295,100円</td></tr><tr><td>差額(還付額)</td><td>▲400円</td><td>▲600円</td><td>▲900円</td></tr></tbody></table> |          | R3(3名分)  | R4(4名分) | R5(5名分) | 税額【正】 | 194,700円 | 233,000円 | 294,200円 | 税額【誤】 | 195,100円 | 233,600円 | 295,100円 | 差額(還付額) | ▲400円 | ▲600円 | ▲900円 |
|                   | R3(3名分)   | R4(4名分)  | R5(5名分)  |         |         |       |          |          |          |       |          |          |          |         |       |       |       |
| 税額【正】             | 194,700円  | 233,000円 | 294,200円 |         |         |       |          |          |          |       |          |          |          |         |       |       |       |
| 税額【誤】             | 195,100円  | 233,600円 | 295,100円 |         |         |       |          |          |          |       |          |          |          |         |       |       |       |
| 差額(還付額)           | ▲400円   | ▲600円    | ▲900円    |         |         |       |          |          |          |       |          |          |          |         |       |       |       |

## 2 過大徴収が生じた場合の対応

地方税法第17条に基づき、遅滞なく還付する必要がある。なお、本件に係る還付加算金はそれぞれ1,000円未満のため生じない。

## 3 事案の処理結果について

### (1) 課税誤りが生じた納税者への還付

令和5年10月末日までに、上記6名に対して還付を行う予定

### (2) 再発防止策

| 小川村   | 県(市町村課)  |
|---|--|
| 税務行政の信頼回復に向けて、下記のとおり再発防止に取り組む<br>・基準地価格は、審議会の答申を経た県通知を用いることの認識強化<br>・当該県通知の金額とシステム入力金額を突合し、さらに複数人で確認することにより、正しい数値の使用を担保する | ・小川村への個別フォローアップ<br>⇒令和6年度から8年度までの基準地価格の使用状況を確認<br>・全市町村への対応<br>⇒評価替え年度における固定資産税の価格の決定の流れについて、各種研修により、引き続き周知を図る |